



学びの庭

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り、
児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。

創立 明治5年
1872年

令和2年(2020年)5月12日

発行責任者 校長 岩下清彦

学校再開に向けて 臨時休業中の家庭学習の取組を



校庭の木々や街路樹が目には鮮やかな新緑に包まれ、風薫る季節となりました。若々しい葉は、ぐんぐん成長している玉諸小の子どもたちのようです。

保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。臨時休業の延長に伴い、令和2年度の新学期が開始できず、ご心配やご迷惑をおかけしています。学校としても再開でき次第、子どもたちが安心して登校できるように、健康・安全面の配慮や、スムーズな学習のスタートのための準備をするなど、学校再開に向けて全力を挙げて取り組んでいるところです。

臨時休業中の家庭学習については、復習を中心に一部予習的な内容も含め、保護者の皆様のサポートのもと取り組んでいただいておりますことに感謝いたします。具体的な内容や取り組み方については、各学年から出されているお便り等を確認の上、アドバイスしていただければと思います。

臨時休業中、また、学校再開後の学習や学校行事については、市教育委員会からの指示、指導のもと、保護者の皆様のご理解ご協力をいただきながら進めていきたいと考えています。

緊急事態宣言が継続されている中、外出や外遊びもままならず、ストレスを感じている子どもたちもいることと思います。子どもたちの気持ちに寄り添い、励ましていただくようお願い申し上げますとともに、子どもたちと保護者の皆様のご健康と安全を心よりお祈り申し上げます。

教材配付へのご協力 ありがとうございました



4月上旬には教科書を、その後2回に渡って家庭学習用の教材やプリントなどを配付させていただきました。年度始めのお忙しい中でしたが、何度も来校していただき、ありがとうございました。

1回目の配付の際には、クラス替えをした学年のクラス発表とともに、学級担任の発表も行いました。臨時休業中で授業参観や家庭訪問が実施できない中、保護者の皆様と学級担任とが顔合わせをする貴重な機会となりました。

また、割り振らせていただいた日時に合わせたり、混雑しないように時間差を付けたりしての来校へのご協力に感謝いたします。

気軽に学級担任、学校まで ご相談ください

今年度は、年度始めの授業参観、学級懇談会の取りやめ、家庭訪問の見送りなど、直接、保護者の皆様と子どもたちについて話したり、保護者の皆様の思いや考えをお聞きしたりする機会が少なくなっています。4月始めに学級担任と顔合わせをし、下旬には、学級担任からご家庭へ電話で子どもたちの健康状況や学習・生活の様子を確認させていただきましたが、今後も、学校と家庭との連携を密にしながら指導にあたっていきたいと考えています。心配ごとや悩みごとなど、相談したいことがありましたら、どうぞ気軽に学級担任、学校まで電話やメールなどでご相談ください。

P T A総会・学年総会は書面による開催に

今年度は、保護者の皆様のご理解ご協力をいただく中で、P T A総会・学年総会を書面による審議、議決とし、今年度の活動方針・活動計画・予算などの承認をいただくことになりました。1・3・5年生の役員については、例年のように学級懇談会時の選出はできませんでしたが、学級委員長や専門部員に、定員を上回る多くの保護者の皆様に立候補していただき、厳正な抽選を行う中で役員を選出させていただくことができました。本当にありがとうございました。

すでに、学年総会については承認をいただきましたが、併せてP T A総会についても、今回お渡しした資料をご覧ください、ご意見等があればお知らせください。

今年度の玉諸小学校P T Aスローガン（案）は「思うは招く、プラス思考でいくぞ玉諸！ 限界突破だ😊」です。厳しい状況が続いていますが、今年度のP T A活動が例年以上に、子どもたちを中心とした家庭と学校の連携の架け橋となるよう、プラス思考で1年間、ご理解、ご協力をお願いします。

支援員が2名に

特別支援教育支援員として、5月1日から青木千枝子先生が配属されています。市内に4名増員されたうちの1名で、本校の支援員は2名となりました。

学校だよりは、玉諸小HPでもご覧いただけます。



玉諸小学校 校歌の由来

本校の校歌が制定されたのは、昭和39年（1964年）10月7日、今から56年前のことです。校歌には、この地域の自然や歴史を織り込み、子どもたちに明るく元気に育ってほしいという願いが込められています。

玉諸小学校百周年記念誌「玉諸小学白寿史」（昭和48年（1973年）発刊）には、校歌について次のように記されています。

「柳の新緑、開き始めた桜のつぼみ、校舎の周りは見渡す限り一面のレンゲ畑。昭和39年の春、新校舎の屋上へ上られた向井房恵先生はあまりの美しさに『夢の国のようだ。』と感嘆されたという。それから、玉諸神社をはじめ土地の様子をいろいろ調べられ、明るく力強い校歌を作詞して下さった。なお、それ以前には校歌はなかった。」

玉諸小学校 校歌
作詞 向井房恵
作曲 坂口五郎

一 夢の国かとまごうほど
広いすがしい玉諸の
柳さくらとつどいたる
学びのにわのゆかしさよ

二 ながめ雪山 遠けれど
朝は朝風夕日かげ
まもる力もうるわしの
野にはげんげの花ざかり

三 春秋ここにいくめぐり
やしろのゆかりとおとくも
新産業にうち向う
六年をほまれわが母校

▶ 校歌作詞者の向井房恵さん（1889-1975）は、北巨摩郡熱見村（現在の北杜市高根町）出身。谷村工商校長、甲府市助役、第1回公選山梨県教育委員長などを歴任。県教育功労者。玉諸小校歌のほか、里垣小、国母小、貢川小、東小、明見小、秋山中、ろう学校などの多くの校歌や山梨青年団歌などを作詞されました。

▶ 校歌作曲者の坂口五郎さん（1901-1975）は、長野県長野市出身。山梨大学教授・名誉教授、帝京短期大学教授などを歴任。県政功績者。玉諸小校歌をはじめ、里垣小、国母小、明見小、谷村第二小、敷島中、双葉中、峡南高校、山梨学院大学などの多くの校歌のほか、山梨県の体育祭りの歌、山梨観光音頭、山梨遊覧小唄などを作曲されました。

〒400-0814
山梨県甲府市上阿原町491番地
電話 055-233-2447
FAX 055-233-2451
E-mail: tamamoro-e@es-jhs.kai.ed.jp

